

出席者（敬省略）：常盤、片平、古川、上原、臼井、大下、久保、古城、松山、丸山、深谷、伊藤、浅井

1. 常盤さんよりお話

（※後半のみの内容となり、全体の内容を反映出来ていない可能性があります。どなたか補って下されば幸いです。）

キーワード：**融合**

「非科学的要素が必ずある」「(非科学的要素と科学的要素との) **融合**」

- ・「裏のある‘当て推量’」

この‘当て推量’を言い当てた言葉が無い。

個人の場合にはこれでも構わないが、経営ではこれを正当化しなくてはならない。

(background の共有が必要)

- ・ダ・ヴィンチのような A 級科学者はこの点を理解している。そうでない科学者は、自らの対象に非科学があることをなかなか認めようとしない。
- ・良い広告コピーは **discription** であって **inference** ではない。残りの部分を‘想像’させる。

例：フォルクスワーゲン

2. 松山さん発表「中小企業は進化する」

1. 「進化」「進化能力」とは何か？

まず、**進化 ≠ 進歩**である (cf. 発展 ≠ 成長)。「進歩」は **backward** で分かるものだが、「進化」とはその時点で分かる、周囲の変化への対応である。逆に言えば、変化が周囲にあるからこそ「進化」が起こる。

2. 「植物」としての企業

植物は、環境が厳しくても悲壮感がない。偶然たどり着いた環境に柔軟に対応する。

3. 経営のアート（芸術）性

経営において、‘芸術’に対応する言葉がない。現在の経営はむしろ‘戦争’に例えられている。

3. 11月の見学について

株式会社吉岡精工様、日本理化学工業株式会社様の見学を決定。